

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<p>上位目標：ガザ地区での安定的な食料確保と自給率の向上、環境保全と緑化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガザ地区の農業セクターの強化 2. 環境保全型農業技術の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修により若手技術者の育成と農業セクターでの就労が進む。 ・ 研修に参加した農家による技術普及が進む。 ・ 生産した苗木が小規模・紛争被害農家に配布され、活用される。 ・ 野菜接木（つぎき）や節水型農業など新しい技術の普及が進む。
(2) 事業内容	<p>1 研修</p> <p>【若手技術者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施中。 ・ 農学部を卒業して5年以内の22名を対象に10ヶ月間の研修を4月より開始。 ・ 8月末までに800時間中416時間を実施済。 <p>【農家研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施中。 ・ ガザ地区北部の農家20名を対象にした3ヶ月間の研修を4月より開始して7月に終了。 ・ 予定していた144時間すべてを実施。16名が課程を修了。 ・ 8月よりガザ地区中部での研修を開始。 ・ 11月よりガザ地区南部での研修を予定。 <p>【ナキール研修農場の研修活動への活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施中。 ・ 若手技術者研修および農家研修の実技科目を実施。 ・ 若手技術者研修では実践型研修（OJT）を開始。 <p>2 育苗</p> <p>【苗木生産と配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施中。 ・ 生産した野菜苗木約31万株を233農家に配布。 ・ 生産した樹木苗木約4500株を733件の小規模・紛争被害農家およびNGOなどに配布。 ・ 夏季の急激な気温上昇のため、樹木苗約6000株（目標値の10%）に被害が発生したが、補填分の樹木苗の生産を開始済み。 <p>【展示圃場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施中。 ・ ナキール実習農場を展示圃場として活用。 ・ 農業関係者を招いてのオープンデイを14回開催、来場者329名。 ・ 野菜接木を含む試験栽培を実施中。 <p>【短期日本人専門家派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中東情勢の影響を受け、実施に至っていない。

	<p>【日本での専門家会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 月以降に予定。 <p>3 水利用</p> <p>【家庭雑排水の再利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ計画通り実施中。 ・ 新規 5 農家に家庭雑排水再利用施設を設置。 ・ 2 年次に設置した施設のモニタリングおよび水質・土壌の検査を継続。 ・ 新たに家庭雑排水再利用に関する啓蒙活動を実施。 <p>【テンシオメーターの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ計画通り実施中。 ・ ガザの水問題と節水栽培に関するワークショップを 6 回実施。 ・ 農家研修生やワークショップ参加農家へテンシオメーターを配布し、節水型灌漑の指導を 11 農家で開始。 ・ 農家へのテンシオメーターの設置に若手技術者研修生が本格的に参加。 ・ 昨年度裨益者へのフォローアップ・ワークショップを実施。 <p>【下水処理水の再利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水処理場が稼働していないため処理水再利用の啓発にまで至っていない。 ・ 当該設備の建設状況は視察済み。 <p>【短期日本人専門家派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中東情勢の影響を受け、実施に至っていない。 <p>4. 普及</p> <p>【小冊子の作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツをまとめ中。 ・ 監修にあたる専門家、出版社の選定を準備中。
(3) 達成された効果	詳細別紙。
(4) 今後の見通し	<p>1 研修</p> <p>【若手技術者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を継続。 ・ グループ研究および OJT の実施。 ・ 来年 1 月下旬に 10 ヶ月間の研修を終了する計画。 <p>【農家研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月 19 日から 11 月 11 日までガザ中部にて第 2 期農家研修。 ・ 11 月 12 日から来年 2 月 6 日までガザ南部にて第 3 期農家研修。 ・ 研修生の社会・経済・環境的な面での営農調査を実施。 <p>2 育苗</p> <p>【苗木生産と配布】</p>

- ・ 野菜・樹木ともに生産を継続、順次配布。
- ・ 接木苗栽培の強化とプロモーション活動。
- ・ 事業終了後の苗販売に向けた準備。
- ・ 増加する裨益農家に対応するためのグループ作り。
- ・ 裨益農家の営農状況に係る調査。

【展示園場】

- ・ オープンデイの継続。
- ・ 野菜接木のアピールや低コスト化を視野に入れた試験栽培。
- ・ 新規作物の栽培。

【短期日本人専門家派遣】

- ・ 情勢を考慮しながら、派遣可能な専門家の選考を進める。

【日本での専門家会議】

- ・ 10月以降に実施を検討中。

3 水利用

【家庭雑排水の再利用】

- ・ モニタリングおよびフォローアップを継続。
- ・ メンテナンス講習の実施。

【テンシオメーターの導入】

- ・ 各地域での裨益者選定とOJTによる配布活動。
- ・ 増加する裨益者に対応するためのグループ・フォローアップの実施。
- ・ 土質など利用条件の違いに対応した指導法の確立。
- ・ 営農状況の確認。

【下水処理水の再利用】

- ・ 果樹農家を対象にした下水処理水再利用に関する啓蒙ワークショップの準備。

【短期日本人専門家派遣】

- ・ 11月以降に専門家の派遣を検討。

4. 普及

【小冊子の作成】

- ・ コンテンツの集約。
- ・ 監修・編纂の選定。

5. 他

- ・ 現地NGOへの引き継ぎ準備(資機材、裨益者データベースなど)。
- ・ 現地NGOと事業引き継ぎに向けた協議。